

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 店ではたらく人（13時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力、判断力、表現力等〕
販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえて売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解する。	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「わたしたちのまち・みんなのまち」において、町の様子を見て回り、建物や交通、土地利用の様子などを調べ、地図に書き込みながら、地域の特徴をまとめた。

働かせる見方・考え方：消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりに着目し、販売に携わっている人々の仕事の工夫を考えること。

段階	□学習問題（時間）	留意点
課題把握	<p>1 おうちの人は、ふだんどんなお店に行っているのだろう。</p> <p>・どんなお店によく行くか調べる。（3）</p>	<p><b>気付きや疑問から問いを設定する場面</b></p> <p>・調べたことを出し合い、単元を貫く問いをつくる。</p>
	<p>単元を貫く問い：スーパーマーケットは、お客さんにたくさん来てもらうためにどんな工夫をしているのだろう</p>	
課題追究	<p>2 スーパーマーケットのよいところは何だろう。（1）</p>	<p><b>予想から解決の見通しを持つ場面</b></p> <p>・単元を貫く問いについて予想をし、調べることを焦点化していく（学習計画を立てる）。</p>
	<p>3 スーパーマーケットの売り場では、どんな工夫をしているのだろう。（3）</p> <p>・売り場を見学して分かったことを発表し合う。</p>	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面1</b></p> <p>・予想を基に、スーパーマーケットの売り場を観察調査したり、店長さんの話を聞いたりする。</p>
	<p>4 スーパーマーケットの食料品は、どこからやってくるのだろう。（2）</p> <p>・食料品の産地を調べ、他地域とのつながりを考える。</p>	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面2</b></p> <p>・店のポップやちらしから調べ、地図にまとめる。</p>
	<p>5 買う人たちは、どんなことを大切に考えているのだろう。（2）</p> <p>・お客さんがスーパーを利用する理由を考える。</p>	<p><b>予想や仮説の検証に向けて調べる場面3</b></p> <p>・実際にお客さんに、インタビューする場を設ける。</p>
まとめ	<p>6 スーパーマーケットで働く人がお客さんにたくさん来てもらうためにしている工夫って何だろう。（1）</p> <p>【ねらいを達成した子どもの姿】 スーパーマーケットでは、お客さんの願いをかなえるように、品揃えや値段の設定や営業時間を工夫している。お客さんの願いやニーズに応えることは、お店の売り上げを上げることにもつながっているんだ。</p>	<p><b>学習を振り返って表現する場面</b></p> <p>・調べたことを振り返りながら、学習問題（単元を貫く問い）についてまとめ、消費者の願いと販売に関わる人々の工夫の連携について考える。</p>
	<p>7 店長になったつもりで「ぼくの・わたしのスーパーなスーパーマーケット」を考えよう。（1）</p>	<p><b>学習してきたことを活かす場面</b></p> <p>・スーパーの店長さんの「スーパーなスーパーマーケットにしたい」という言葉をもとに、これまでの学習を活かし、“より消費者の願いに応えたスーパーマーケット”を考える。</p>

次単元へのつながり：地域の生産に携わる職業についている人の仕事や工夫について調べる。